

OSAKA-TEMMABASHI

ROTARY Club Weekly Bulletin



第2660地区 大阪天満橋ロータリークラブ 創立 昭和42年(1967)11月4日

事務局 〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目3番1-1100号 大阪駅前第1ビル11階

例会 毎週木曜日 12時30分 ヒルトン大阪

会長 高橋 俊起 幹事 仲西 良浩 ソング・プロム・広報委員長 西田 勤

事務局電話(06)6344-0120 FAX(06)6344-0126 ホテル電話(06)6347-7111

E-mail:temma-rc@temmabashi-rc.com http://temmabashi-rc.com

2022-2023年度RIテーマ

<四つのテスト> 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

APRIL 20 2023 NO. 2614

環境月間

☆☆ 今日のプログラム ☆☆	次週(4月27日)のお知らせ
1) 例会 (2614回)	1) 例会 (2615回)
2) ソング 我等の生業	2) ソング みかんの花咲く丘
3) 卓話 「タイ・海外研修研修報告」 大阪天満橋ロータリーアクトクラブ 山崎 さやか様 青少年奉仕委員会	3) 卓話 「エレキギターの思い出」 在本 茂会員
4) 第5回被選理事会	4) 5月度定例理事会

☆☆ 4月度の結婚記念日 ☆☆

大矢 平治 中村 健輔 勝見 茂
井戸 幹雄 末澤 正大

(以上敬称略)

** 先週の例会報告 **

☆☆ 会長報告 ☆☆

あっという間に桜も散り葉桜となり、気温もドンドンと上昇して来ました。今年は杉と檜の花粉飛散に加えてここ数日間は黄砂も激しくなっております。もうしばらくこの状況は続く予想がされていますので皆さまお気を付けてください。

今回は、大阪大手前ロータリークラブの例会場である帝国ホテル大阪へ移動しての3世代合同奉仕事業の報告を兼ねた3世代合同例会となりました。大阪大手前ロータリークラブSAAの山本様、河野会長、岡田幹事には会場設営頂きましてお世話になりました。合同事業は中央区島之内にある子ども食堂への寄付を行いました。実は多くの子ども食堂と言うのは他のロータリークラブやライオンズクラブより寄付を頂いており本当に困っている所に、と言う訳でこの場所に決定した経緯があります。大阪大手前ロータリークラブの辻村社会奉仕委員長も三世代事業に関してお世話になりました。

私の記憶では3世代合同事業は、毎年計画は立てていたもののコロナ禍に於いて天満橋がホストで2回延期となり中之島ロータリークラブが1回延期となっていると思いますので4年振りの開催となります。

記録を辿って見ますとこの3世代クラブ合同奉仕事業は1997年(平成9年)の23年前より、合同例会はロータリー設立100周年を記念して2005年(平成17年)の19年前より継続している継続事業です。色々な行動制限下、当クラブでは独自の事業開催も余儀なくされたケースが多々あり皆様のクラブにおかれましても同様ではないかと存じます。今年度に関しましても感染の拡大時期はありましたが順調にスケジュールはこなして行き平常に戻りつつあります。ゴールデンウィーク明けにはいよいよ制限も解除され次年度には通常に戻り今迄中断していた事業等も再開出来るものと確信しております。

最後に、現在、大阪大手前・大阪中之島ロータリークラブに於いても会員数を維持するのに四苦八苦されており運営も厳しい舵取りをされているのではないかと思います。コロナ禍の影響も確かにあったのではないかと思います。いよいよ制限解除されますので通常に戻してメンバー増員に励みましょう。

☆☆ 出席報告 ☆☆ ()内は会員総数を基準とした値

国内ビジター	0名	会員総数	42名	4月14日の出席率	62.86%
国内ゲスト	0名	会員出席	22名(35名)	4週間前(3月23日)の	
外国ビジター	0名	出席規定適用免除	18名	メイクアップを含む出席率	83.78%
外国ゲスト	0名	会員欠席	13名	メイクアップ実施会員	1名(欠席者7名)

☆☆ 幹事報告 ☆☆

①次週例会終了後「第5回被選理事会」を開催いたします。本日ご案内させて頂いておりますので関係各位宜しく願いいたします。

☆☆ にこにこ箱 ☆☆ 敬称を略す

三世代クラブ合同例会宜しく願います

仲西 良浩

三世代クラブ合同例会ご出席ありがとうございます。

望田 謙三

三世代合同例会の開催を祝して

中川 政昭

令和5年4月14日 合計金 10,000円

累計金 1,720,000円

☆☆ 先週(4月14日)の卓話 ☆☆

「大阪市内のこどもの居場所活動の現状について

～大阪市地域子ども支援ネットワーク事業を通じて～」

社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会

大阪市ボランティア・市民活動センター

副所長 阪井誠一様



本日は、三世代クラブ合同例会にお招き頂き誠にありがとうございます。また、このたびは「鰻谷商店会 鰻谷こどもの日」の活動にご寄附いただきありがとうございます。

みなさまが日ごろからこどもの居場所に関心を持っていただいていること、この場をお借りしまして感謝申し上げます。ありがとうございます。

さて、本日は大阪市社会福祉協議会が平成30年度から実施しております大阪市地域子ども支援ネットワーク事業(以下、ネットワーク事業)について、簡単ではございますが説明させていただきます。

ネットワーク事業は、子どもに関する課題を「他人事」ではなく、一人ひとりが「我が事」と捉え、地域住民と社協、地域団体、民生委員・児童委員、社会福祉施設、企業・団体などが一体と

なって、こどもの食や学習の支援をはじめ、こどもたちが身近に集うことができる居場所づくりを推進しています。

当初88団体から始まった事業ですが、令和5年3月末時点で288団体と毎年約50団体ずつ増えおり、大阪市内におけるこどもの居場所活動の関心の大きさがわかっていただけたと思います。しかし、団体の多くは、情報発信を苦手にしており、寄附が集まりづらく、活動に不安を持っている団体も多いため、当センターが窓口となり企業や団体からの寄附を受け、登録団体に配分しています。令和4年度は124の企業や団体から寄附物品の提供があり、延べ1228団体へ配分しています。

次に、コロナ禍の状況(令和3年)ではありましたが、ネットワーク事業登録団体向けにこどもの居場所活動状況についてアンケート調査を実施しましたのでご報告いたします。

開催頻度は月1回程度活動している団体が43.8%と最も多くなっています。活動曜日・時間帯は土日祝(昼)と平日(夕)の割合が高く、学校以外でこどもたちが集まりやすい日が設定されています。年間の運営費については、30万円未満の団体の割合が29.1%と最も高くなっており、財源は助成金、寄附金、参加費の順で多くなっています。また、運営で困っていることとして、運営費の確保だけでなく、ボランティアが集まらない、特定のスタッフに役割が集中するなどのマンパワーに関することも多くなっています。

運営資金については、不足しているという意見の割合が33.3%でしたが、不安があるとする意見が59.0%あり、運営資金が不安定要素の高い寄附や助成金などに偏っていることが原因であると考えられます。

最後になりますが、こどもの居場所活動は「こどもたちのために何かしたい」という気持ちで成り立っている活動でございます。今後とも、みなさまのお力添えをいただき、大阪市内のこどもの居場所活動を推進していきたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願い申し上げます。ご清聴ありがとうございました。

☆☆ 本日のランチメニュー ☆☆

ビーフカレーライス
ミックスグリーンサラダ
フルーツ取り合わせ
コーヒー又は、紅茶